

株式会社千葉カントリー倶楽部 ●千葉県野田市

贈呈理由

クラブハウスの給湯へ、環境性・経済性を考慮し積極的に業務用エコキュートを採用



千葉カントリークラブ 野田コースクラブハウス

千葉カントリークラブは、1954年に開場した59年の歴史と伝統を持つ名門ゴルフクラブである。

日本で最初に林間コースと呼ばれた「野田コース」、東・南・西の27コースを有し四季折々の木々とともに桜の名所としても有名な「川間コース」、過去に日本オープンゴルフ選手権の開催実績もあり国内でも有数の本格的チャンピオンコースである「梅郷コース」の3コースからなり、梅郷コースにおいては2014年10月に第79回日本オープンゴルフ選手権の開催も決定している。

業務用エコキュートと重油ボイラのハイブリッドシステムを順次導入

「従業員は来場者へ最高のサービスを提供するよう努める」ことを行動規範に掲げる同倶楽部では、環境性や省エネルギー性にも配慮した経営を目指しており、エネルギーを多量に消費するクラブハウスの給湯システムについて、省コストと省エネルギーを目的として業務用エコキュートの導入に取り組んできた。1日の給湯使用量の変動が大きいこと

から、インシヤルコストとランニングコストのバランスに優れた業務用エコキュートと重油ボイラを併用するハイブリッド給湯システムを導入し、野田コースでは85年、川間コースでは89年に同システムの導入を行った。

電化比率を高め、省コスト・省エネルギーを追求

導入によるランニングコストの低減ならびに省エネルギー効果が十分に確認できたことから、導入した業務用エコキュートは、野田コースでは09年、川間コースでは13年にリニューアルを実施した。川間コースでは業務用エコキュートの能力を大きくすることで、ハイブリッド給湯システムの電化比率を高め、さらなる省コスト、省エネルギーを実践している。

同倶楽部では他コースへのエコキュート導入を検討するなど、今後も環境負荷軽減について積極的に取り組み、よりお客さまに満足していただけるサービスの提供を目指していく。



業務用エコキュート

千葉カントリークラブ 野田コースクラブハウス

所在地:千葉県野田市番昌4
蓄熱設備設計:(株)前川製作所
蓄熱設備施工:(株)前川製作所
延床面積:3,855㎡
竣工年:2009年(更新)

●蓄熱設備概要

業務用エコキュート 68.9kW(前川製作所)
貯湯槽 14.4㎡

千葉カントリークラブ 川間コースクラブハウス

所在地:千葉県野田市中里3477
蓄熱設備設計:(株)ピーエーシー環境モード
(株)前川製作所
蓄熱設備施工:(株)前川製作所
延床面積:4,097㎡
竣工年:2013年(更新)

●蓄熱設備概要

業務用エコキュート 78.5kW/92.6kW(前川製作所)
貯湯槽:37.5㎡